

Plus PM Consultant 《ASEAN REPORT》

起工式が執り行われました - PT Mitsubishi Motors Krama Yudha Sales Indonesia -

2023年10月、インドネシアのプカシで、Plus PM Consultantが支援するMMKSI New Training Centerプロジェクトの起工式が執り行われました。

このプロジェクトは、MMKSIに関連する営業スタッフやテクニカルサービススタッフなどが、最高水準の顧客サービスを提供できるようになるための教育環境を整えることを目的としています。インドネシアで最大規模のトレーニングセンター建設計画です。

当社は、プロジェクトの初期段階から参画し、土地の選定支援、建物の基本コンセプトの策定、設計施工者の選定支援など、プロジェクト全体を継続的にサポートしてきました。新型コロナウイルスの影響によりプロジェクトの一時中断を余儀なくされましたが、長い準備期間を経ることで、ついに着工が実現しました。

施工段階においても、引き続きプロジェクトの成功に向けて全力でサポートいたします。



	PT Mitsubishi Motors Krama Yudha Sales Indonesia
事業主	PT Mitsubishi Motors Krama Yudha Sales Indonesia
建設地	インドネシア・ジャカルタ
用途	トレーニングセンター
C	M : Plus PM Consultant Sdn. Bhd.



▲筑波大学のマレーシア海外分校設置に関する政府間覚書締結時
(写真左から、メガット副次官、カレド高等教育大臣、高橋特命全権大使、辻村準備室長)

(出典：筑波大学「筑波大学マレーシア海外分校の設置について」2023.3.20
<https://www.tsukuba.ac.jp/news/20230320094330.html> (2023.5.25))

筑波大学がマレーシアに海外分校を建設します

当社は「筑波大学マレーシア海外分校改修工事におけるコンストラクション・マネジメント業務」を受託しました。本プロジェクトは、マレーシアの首都クアラルンプールの国立マラヤ大学内に筑波大学が分校を開設するものです。

筑波大学様は、この海外分校によって、諸外国の学生に対してより魅力的な大学教育を提供し、日本国内のみならず、世界に開かれた高等教育機関を目指しています。当グループは、プロジェクトのゴールへ向けて、日本法人とマレーシア現地法人の連携体制を活かし、2024年9月の開校を目標に基本計画、設計施工者選定、施工、開校までを支援します。

	筑波大学マレーシア海外分校
事業主	国立大学法人筑波大学
建設地	マレーシア・クアラルンプール
用途	教育施設
C	M : Plus PM Consultant Sdn. Bhd.

社員紹介

前職では設計事務所得意設計に従事しており、研究施設を中心に、病院や商業施設の計画に携わってきました。設計の前段階から総合的にプロジェクトを推進していくCMという仕事に興味を持ち、転職しました。

お客様に喜んでもらえることはもちろん、周辺の人々にも貢献できればと思いますし、それができると建築の魅力の一つだと感じています。

8年前から登山を趣味にしています。息子はまだ生後半年ですが、いつか一緒に行ければと楽しみにしています。



大阪本社
かわかみ たけし
川上 越

Plus PM 株式会社 プラスPM

代表取締役社長 木村 譲二

本社：〒530-0047 大阪市北区西天満 2-8-5 西天満大治ビル
TEL 06-6363-6066 (代)
東京支社：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-4-6 ニューカワイビル
TEL 03-6665-0053 (代)
福岡支店：〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 8-1 JRJP 博多ビル
TEL 092-286-9849 (代)
Eメール：info@plusweb.co.jp

Plus PM Consultant (1054055-T)

Managing Director / CEO Joji Kimura

マレーシア：16-16, 16th Floor, Wisma UOA II, No.21,
Jalan Pinang, 50450 Kuala Lumpur, Malaysia
TEL + (603) 2712-0263
ベトナム：16th Floor, Daeha Business Center 360
Kim Ma Street Ba Dinh District, Hanoi Vietnam
TEL+ (8424) 3267-3623

※本誌に対するご意見、ご感想をお待ちしております。お問い合わせ先は、Plus Update編集部まで

Japan Plus Update

PR Booklet

Plus PM 株式会社 プラスPM

2024 April • Vol. 49

四国中央病院の設計・施工者が決定しました



本プロジェクトは、老朽化・狭隘化した現病院を新敷地に移転新築するものです。

事業主である公立学校共済組合は、全国の公立学校教職員およびその家族や遺族の生活の安定と福祉の向上に寄与するとともに、公務の能率的運営に資することを目的とし設立されました。

四国中央病院は、組合様が全国8ブロックに設置した本部直営病院の1つで、1959年5月から開設されています。今回の整備により、次の4点を満たす宇摩圏域における各医療に対応した地域中核病院を目指しています。

- ①地域住民の“健康寿命の延長”に向けた医療提供の実現
- ②災害発生時に拠点として機能
- ③ハートフルでリラックスできる医療環境の実現
- ④地域の高度急性期、急性期、回復期医療および人間ドックなどの健康管理事業を有する公的基幹病院

当社は、基本計画段階から支援を始め、病床数見直しなどの医療機能の検討、建設費高騰への対応、既存病院の解体、液状化対策が必要な敷地という複雑な条件の中で、医

療機能とコストのバランスをとった詳細な基本計画の策定を行いました。

発注準備段階では、建設物価の高騰、資材納期の長期化など、厳しい市況に対応するため、マーケットサウンディングを開催し、設計者、施工者が参加、提案しやすい環境を整えることで複数社参加による入札を実現しました。

参加各社には、発注者の考えが反映された計画を提案してもらったため、入札期間内に2回の「対話」を行いました。各社の提案に対し意見交換を行うことで、発注者、提案者が互いに考えをより深く理解した状態でプレゼンテーションを開催でき、予定価格内の事業者の選定につながりました。建設費の上昇をモニタリングし、不調・不落リスクに関係者に発信・共有することで、事業費超過への対応を図ったこともスムーズな事業進捗と良好な関係性に寄与したと考えます。プロジェクトは今後、設計段階、施工段階へと進みます。引き続き2028年の竣工に向け、プラスPM一丸となって取り組んでまいります。

公立学校共済組合 新四国中核病院

事業主：公立学校共済組合
建設地：愛媛県四国中央市
用途：病院
構造/規模：鉄骨梁端部RC補強工法 / 5階

延床面積：約19,000㎡
C M：株式会社プラスPM
設計/施工：清水建設
伊藤喜三郎建築研究所特定建設工事共同企業体
竣工：2028年5月(予定)

「八反丸リハビリテーション病院建替事業」竣工式が執り行われました

2024年3月に八反丸リハビリテーション病院建替事業の本棟および管理棟新築工事の竣工式が、八反丸理事長ご臨席の下、厳かに執り行われました。

本事業は老朽化した現病院の建物に替わる新病院本棟と管理棟を新築するものです。構想は2012年から始まり、当社は2020年9月の基本構想開始から竣工引き渡しまで3年半にわたり本事業のCM業務を担当しました。具体的なCM業務内容としては、全工程における定例会への参加、マスタープランの作成支援、設計施工者への発注支援、設計段階の仕様最適化やコスト増減のマネジメントなどです。

時期としてコロナ禍以後の著しい物価上昇の真ただ中でありましたが、理事長以下発注者事務局の賢明なリーダーシップの下、関係者一丸となったチームワークで、本件建替工事を予算内かつ、予定工期通りに竣工させることができました。

新病院での営業は、5月開始の予定です。新病院の目標である「地域で一番のリハビリテーション病院」の実現を心よりご祈念申し上げます。



八反丸リハビリテーション病院	
事業主	医療法人 慈恵会 八反丸リハビリテーション病院
建設地	鹿児島県鹿児島市
用途	病院
構造 / 規模	鉄筋コンクリート造 / 地上5階
延床面積	約5,857㎡
C	M：株式会社プラスPM
設計 / 施工	大成建設株式会社（本棟） 鎌田建設株式会社（管理棟）
竣工	工：2024年2月

高度医療・人材育成拠点 基本計画コンストラクション・マネジメント業務

「高度医療・人材育成拠点」は県立広島病院、J R 広島病院、中電病院の3病院を中心とした医療機能の再編により、多くの医療資源を集約し、診療体制が充実した病院の新築計画です。高度な医療や様々な症例が集積された魅力的な環境の整備により、全国から意欲ある若手医師を惹き寄せ、患者の状態に応じた切れ目のない医療を提供する地域完結型医療の実現と、医療機関との連携・協働による医療人材の派遣・循環体制の構築を目指しています。

当社では、基本計画の策定に際して、業務スケジュールの策定・管理、各種会議体の開催、発注方式の検討、建設工事の予算設定など多岐にわたって支援を行いました。

さらに、将来予測の難しい建設市況を踏まえて建設費予算や発注方式などを決定するために、マーケットサウンディングの実施と多数の関係者間における合意形成フローを策定。また、設計者選定では公募型プロポーザル開催を支援し、基本設計着手の土台づくりを行いました。

2024年4月以降に設計段階開始という運びとなります。



広島県 高度医療・人材育成拠点	
事業主	広島県
建設地	広島県広島市
用途	病院
構造 / 規模	地上16階（免震構造）
延床面積	約96,000㎡（新病院棟）
C	M：株式会社プラスPM
基本計画	株式会社日建設計
竣工	工：2030年（予定）

千葉市立新病院整備工事が着工しました

2023年12月に千葉市立新病院整備事業が無事着工しました。本プロジェクトは千葉市西部地域の中核的な病院として総合的な医療を提供するため、現海浜病院の機能を基盤とした新病院を移転新築するものです。移転理由は老朽化への対応です。

当社はECI事業者の選定および実施設計段階から事業に参画しています。選定段階では、施工予定者の選定要綱及び評価資料の作成を支援しました。実施設計段階では、（※）ECI方式の採用によって複雑化した関係者間の全体調整や総合的な視点での品質・コスト・スケジュールのマネジメントを実施しました。

また、昨今の急激な物価上昇や労務逼迫によりお客様が予算の増額を決定した際には、鹿島建設・鶴沢建設JVより提示された上昇コストの妥当性確認を行いました。

引き続き、施工段階もマスタースケジュールの進捗管理や関係者間の調整による別途発注工事の円滑な本体工事への反映などを支援することで、市民の求める新病院完成を目指します。



千葉市立新病院	
事業主	千葉市
建設地	千葉県千葉市美浜区
用途	病院
構造 / 規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（免震構造） / 地上5階、塔屋1階
延床面積	約38,832㎡
C	M: プラスPM・シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング共同企業体
設計	計: 株式会社日建設計
施工	工: 鹿島・鶴沢特定建設工事共同企業体
竣工	工: 2026年3月（予定）

トリケミカル研究所 南アルプス事業所建設事業が着工しました

本計画は、高性能な半導体製造に欠かせない特殊化学物質や微細加工技術を提供し、半導体産業を支えるトリケミカル研究所様が、昨今の半導体需要の高まりを受け、南アルプス市に新工場を建設するものです。

当社は、事業主様の「少しでも早く新工場を操業させたい」というご要望を叶えるべく、基本構想から設計施工者選定、設計段階を支援してまいりました。

基本設計段階では半導体市況の需要変化に対応すべく、主棟のプランと規模が変更になりました。また、環境保全のために一部の棟を木造化することも決定しました。

それらの決定までの検討時間を確保するために建設工事着工を延期しましたが、施工段階で当社がプロジェクトのハブとなることで、通常は建設工事完了後となる生産設備工事を前倒しで行い、当初予定の時期に生産開始を迎えられるように引き続き支援いたします。



株式会社トリケミカル研究所 南アルプス事業所建設事業			
事業主	株式会社トリケミカル研究所	延床面積	約5,500㎡（7棟合計）
建設地	山梨県南アルプス市	C	M：株式会社プラスPM
用途	生産工場（半導体関連）	設計 / 施工	株式会社フジタ
構造 / 規模	鉄骨造、木造	竣工	工：2025年3月末（予定）

ウイッシュボン幸浦工場建設事業の設計施工者が選定されました

本事業は、洋菓子の製造・販売を行う株式会社ウイッシュボン様の第2工場を神奈川県横浜市に新築するものです。本事業の目標は、食品工場としての建物品質の確保、効率的で生産性の高い建物計画、早期の建物稼働です。

設計施工者選定では、後の大幅なコスト増加を防ぐための要求水準の作成、建設会社選定の支援を行いました。選定は、豊富な食品工場の実績を有する複数の建設会社にご参加いただき、技術提案と工事費見積書を求める、総合評価方式で実施しました。

現在、選定された建設会社と共に事業へ取り組んでおり、設計は遅滞なく進行しています。

今後も引き続き、全社一丸となりプロジェクトを支援してまいります。



ウイッシュボン幸浦工場			
事業主	株式会社ウイッシュボン	延床面積	約1,970㎡
建設地	神奈川県横浜市	C	M：株式会社プラスPM
用途	工場（食品工場）	設計 / 施工	株式会社ナカノフドー建設
構造 / 規模	鉄骨造	竣工	工：2025年6月末（予定）

「鏡野町国民健康保険病院整備事業発注者支援業務」を受託しました

本計画は鏡野町国民健康保険病院が将来にわたり持続可能な医療提供体制を確保することを目的として、新病院の整備を行うものです。

発注方式として、（※）ECI方式を採用しており、当社では設計段階の品質・コスト・スケジュールの最適化に向けたマネジメントを行うと共に、ECI方式による選定に係る技術的な支援を行います。

鏡野町国民健康保険病院	
事業主	岡山県鏡野町
建設地	岡山県苫田郡鏡野町
用途	病院
C	M：株式会社プラスPM
設計	計：株式会社石本建築事務所

（※）ECI方式（Early Contractor Involvement方式）
ECI方式は、建設プロジェクトの発注方式の1つで、設計段階から施工者（建設会社）が参画し、施工の実施を前提として設計に対する技術協力を行う方式です。
施工者（建設会社）の技術力を設計内容に反映させることで「コスト縮減」や「工期短縮」を図ることを目的とします。

実績・お客様の声 ジッパーチューヒング株式会社



WEBで公開中!

工場移転・統合プロジェクト